

令和6年度 第1回可児市景観審議会議事録

- 1 開催日 令和6年9月17日(火) 開会時間 午前10時00分
閉会時間 午前11時00分
- 2 開催場所 庁舎5階第1委員会室
- 3 出席委員 景観審議会委員
松本 直司
亀井 栄治
伊藤 栄一
林 久詞
中根 章子
竹谷 雅彦
義村 晃
平野 昌子
可児 幹祥
中根 範子
中村 華奈未
加藤 三省
齊藤 麻梨子
- 4 事務局 建設部長 只腰 篤樹
都市計画課長 柴山 正晴
都市計画課 都市政策係長 土田 茂紀
都市計画課 主任 石山 雄介
都市計画課 沖中 由美
- 5 会議内容 議事
報告第1号 令和5年度 景観まちづくり施策の取組み状況について
報告第2号 屋外広告物モデル地区の指定区域の変更について
協議第1号 景観計画改定に向けた基礎調査の実施について
その他

6 会議の詳細	次のとおり
柴山都市計画課長 (以下「柴山課長」)	(開会を宣言)
只腰建設部長	審議会開催にあたり挨拶を行った。
柴山課長	議事録が非公開情報以外は公開となること、発言委員の氏名を明記する旨を説明した。
土田都市政策係長 (以下、土田係長)	今回の審議会では答申事項がないため、議事録署名人の指名なしとし、事務局による記録を行うことの報告をした。
柴山課長	進行を松本会長に委ねた。
報告第 1 号 令和 5 年度景観まちづくり施策の取組み状況について	
松本会長	報告第 1 号の報告について、事務局に説明を求めた。
石山	「報告第 1 号 令和 5 年度景観まちづくり施策の取組み状況について」を説明した。
松本会長	元久々利地区での助成金申請が少ない傾向で、昨年度は 0 件だった。助成金申請の地元と事務局の感触はいかがか。
石山	近年、塀の補修や住宅の新築といった動きは少ない。和風建築の屋根瓦、石垣や土塀に対して助成される制度であるが、資材の高騰などにより、補修も迷われているのではないかと思う。今後も相談があった際には本制度を周知していく必要がある。
松本会長	景観上重要なものは、申請を待つだけでなく個別に働きかけをする必要があると思う。

石山	地元のまちづくり団体である、「元久々利まちづくり委員会」の定例会に職員が参加したり、会報誌で紹介いただいたりしているため、今後も連携をしていきたい。
報告第 2 号 屋外広告物景観モデル地区の指定区域の変更について	
松本会長	報告第 2 号の報告について、事務局に説明を求めた。
石山	「報告第 2 号 屋外広告物景観モデル地区の指定区域の変更について」を説明した。
伊藤委員	集合看板の形式を守れば、設置する数に規制はないか。また、4 枚のうち、1 枚だけ表示したいときの対応は。加えて、案内する以外の内容の広告物が集合看板に設置されることはあるのか。
石山	屋外広告物モデル地区（以下、「モデル地区」）内での集合看板数に規制はない。また、掲出する事業者が異なることが多く、板面 1 枚ずつに対する許可を行う都合上、白紙もしくは表示面がない場合もあり得る。
加藤委員	モデル地区の区域は明智荘と一致しているのか。ボランティアガイドをする際にモデル地区をアピールできたらと考えているが、齟齬が無いように確認できればと思う。
土田係長	「あけち」という地名は、新たに工業団地となる部分に付けたもの。広見東地区が明智荘と一致するかどうかは不明。
伊藤委員	モデル地区の設定当時の記憶では、議論の中で明智荘の話は出てきていない。

松本会長	モデル地区を指定する県は、この景観審議会が出た意見をどこまで反映してもらえるのか。また、広告物の規制だけでなく、景観形成重点地区の指定なども検討していけたら良い。
伊藤委員	モデル地区の指定区域変更については問題ない。先程加藤委員がおっしゃられた明智荘のエリアについては、広見東地区と一致しないにしてもPRする際にうまく利用していただければ良い。景観全体に対するこの地区の対応については、扱いが変わってきた経緯があると記憶しているので一度整理していただけると良い。
石山	当初は、地元のまちづくり団体から働きかけがあり、看板が乱立して景観が阻害される心配があったためにモデル地区の指定へと繋がった。しかし、現在は団体が解散されており、ルールもモデル地区の屋外広告物に対するもののみが残されている状態となっている。
亀井委員	モデル地区の指定区域変更については承知した。この地区を景観形成重点地区に指定するかどうか、どう景観を守っていくかは市で考えることなので別件である。 広見東地区にインターチェンジができるという話があった際は地元が非常に心配していた経緯があるがインターチェンジができてから心配しているほどのことは起きなかったということで、最後はまちづくり団体も解散したという流れだった。ただ、これから工業団地の開発も進む中で、屋外広告物とは別に市でもこの地区の方向性を考えられたほうが良いと思う。
松本会長	広見東地区はインターチェンジから降りて一番目立つところにあるという認識ならば、良い地域にしなければいけない。これから開発されるところをいかにしていくか、という点が景観形成重点地区の議論にとって非常に重要な視点となる。その点をご配慮いただければ景観の良い地域となるのでは。

協議第 1 号 景観計画の改定に向けた基礎調査の実施について

松本会長

協議第 1 号について、事務局に説明を求めた。

石山

「協議第 1 号 景観計画の改定に向けた基礎調査について」を説明した。

松本会長

次回の景観審議会ではアンケート調査の結果を踏まえて、市の施策・景観計画の改定すべき点などの方向性を示していただくと良い。

土田係長

10 月にアンケート調査を実施する予定で、改善点などを整理して、次回審議会での方向性を示す予定である。

齊藤委員

小中学生アンケートの回答方法については、授業中に回答していただく形なのか。

石山

都市計画課から各校へアンケート用紙を配布するが、回答方法については各校の判断にお任せする。

齊藤委員

アンケート調査では小中学校の皆さんに景観について考えていただく、良いきっかけとなる。出張授業などを踏まえてアンケートを行えばより良い結果が見込めるのでは。

石山

出張授業は、学校長を通じて希望する学校に赴いて実施しているものであるため、景観について考えてもらう機会のために、今後も授業以外にも子どもたちに様々なアピールをして周知を図っていきたい。

松本会長

何らかの方法で調査結果を子どもたちへ返してあげられると景観について考えるきっかけとなる。

亀井委員	調査の目的として、現行計画策定時からの意識変化を把握することと書かれているが、現行計画と比較可能な質問はどれにあたるか。また、可児市の景観が良い所の質問に、「どの季節の」という記入箇所を追加できると良い。
石山	意識の変化については、事業者向けアンケートの問4が、現行計画策定時と同様の質問となっているので、意識変化の比較になると考えている。季節についての記入箇所は、反映できる場合は反映した状態でアンケートを実施する。
松本会長	議事の終了に際し、進行を事務局に委ねた。 その他
伊藤委員	10月15日に下呂市萩原町で開催される、岐阜県景観シンポジウムについて告知した。
柴山課長	(閉会を宣言)